

🕒 2時間×5回
合計10時間

👥 当社の受講条件
1社2名から

📋 受講前提
初級編・中級編修了、
または同等の技能



Webも、 業務システムも。 AIとつくる力を。

要件整理から試作・テストまで。
AIパートナーと進める開発を学ぶ。

職務に関連する訓練課題をもとに、
要件整理・設計から、AIを活用した
試作・テスト・改善までを実践します。

アイデア
→ 要件
→ 設計
→ 試作
→ テスト
→ 改善

“つくりたい”を、
動く形へ。

IDEAS
BUILD
BETTER
TOGETHER

生成AIリスキリング講座〈上級編〉

生成AIエージェント
業務システム試作実践



要件・設計

業務課題の整理と
システム設計



試作・変更確認

生成AIでシステムを試作
素早く確認・改善



テスト・改善

動作確認・ユーザーテスト
継続的な改善

➡ 必要な業務ツールを、AIと一緒に試作する。



訓練用のモデル例 | 問い合わせ受付・対応管理ツール



経営企画
FORWARD DESIGN

問い合わせ受付から、 対応管理まで。 必要な画面を、AIと試作する。

現状の課題
→ 必要な画面
→ AIで試作
→ 動作確認
→ 運用イメージ

見た目だけでなく、
動きまで試す。



受付フォーム

必要な入力項目を設計

問い合わせ管理

ホーム

新規問い合わせ

案件一覧

承認

マスタ管理

レポート

設定

新規問い合わせ

件名 *

問い合わせの件名を入力してください

問い合わせ種別 *

選択してください

詳細内容 *

詳細な内容を入力してください

0/1000

添付ファイル

ファイルを選択

選択されていません

キャンセル

送信する



案件一覧

状況の確認・更新

問い合わせ管理

ホーム

案件一覧

新規問い合わせ

承認

マスタ管理

レポート

設定

案件一覧

すべて (24)

対応中 (8)

対応待ち (6)

完了 (8)

Q 件名・取引先名で検索

絞り込み

No.	件名	種別	ステータス	更新日	担当者
INQ-001	ログインできない	システム	対応中	2024/06/10	田中
INQ-002	帳票の出力エラー	システム	対応待ち	2024/06/10	佐藤
INQ-003	操作方法の確認	その他	完了	2024/06/09	鈴木
INQ-004	アカウント追加依頼	アカウント	対応中	2024/06/09	田中
INQ-005	データの修正依頼	データ	対応待ち	2024/06/08	佐藤



承認画面

権限に応じた操作制御

問い合わせ管理

ホーム

案件一覧

新規問い合わせ

承認

マスタ管理

レポート

設定

対応内容の承認

案件番号

INQ-002

対応待ち

承認アクション

承認する

差し戻す

コメント (任意)

コメントを入力してください

0/500

承認



必要な入力項目の設計

問い合わせ内容に合わせて、適切な入力項目を設計。入力チェックや必須設定など、バリデーションも含めて試作します。



案件の確認・更新

一覧で問い合わせの状況を確認し、ステータスの更新や担当者の設定、コメントの追加など、日々の対応管理を行う画面を試作します。



閲覧・更新・承認の権限設定

利用者の役割に応じて、閲覧・更新・承認の操作を分けた画面を試作。権限による表示制御やボタンの制御も検証します。

画面をつくるだけでなく、AIから使う流れも検証する。

生成AIリスキリング講座〈上級編〉

生成AIエージェント
業務システム試作実践

講座内容を説明するための訓練モデル例です。
実在企業の導入実績や受講者の成果ではありません。
演習題材と試作範囲は、対象職務に合わせて設定します。



初級編

自分のAIに仕事を任せる
役割・指示・権限を設定



中級編

AIパートナーを組織で連携
役割・権限・引継ぎ・承認



上級編

Web・業務システムを試作
設計・試作・検証を学ぶ



経営企画
FORWARD DESIGN

仕事を任せてきたAIを、 今度は、開発にも活かす。

初級・中級で整えたAIを、今度は“つくる側のパートナー”に。
要件整理から試作・テスト・改善まで、一緒に進める力を身につけます。

できた画面の、
その先へ。

AI



“つくらせて終わりではなく、 使って確かめるところまで。”

図は訓練用環境で行う試作・利用検証の流れです。
重要な判断と最終確認は人が行います。



実践的な開発体験

生成AIと一緒に業務システムの
試作開発を体験



現場で使える力

要件・設計・試作・テスト・改善の
一連の流れを実践的に習得



業務に活かせる技能

訓練モデルで、設計・試作・
検証の手順を学ぶ。

AIと一緒に、つくり、試し、改善する。その先に、もっと大きな業務の可能性を。

5回で、 設計から試作・検証まで。

2時間×5回・実訓練10時間

一度に全部ではなく、
小さくつくる。

第1回

2時間

業務課題を 要件にする

利用者・入力・処理・出力を整理し、つくる範囲、対象外、優先順位を決める。



第2回

2時間

画面とデータを 設計する

画面構成、入力項目、データの関係、検索・登録・更新・保存を設計する。

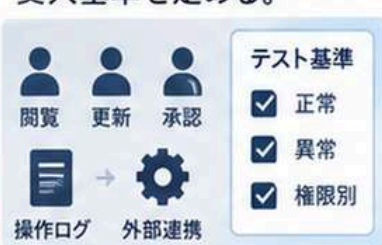


第3回

2時間

権限とテスト基準を 決める

閲覧・更新・承認権限、操作ログ、外部連携と、正常・異常・権限別の受入基準を定める。

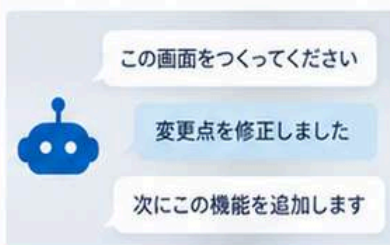


第4回

2時間

AIと段階的に 試作する

作業を小さく分けて指示し、変更箇所・実行結果・エラーを確認しながら修正する。



第5回

2時間

テストし、AIからも 使って確かめる

不具合を修正・再テストし、AIパートナーによる入力・検索・更新・承認依頼を検証する。



実施形式

事業外訓練／OFF-JT・
同時双方向型の通信訓練



受講前提

初級編・中級編修了、
または同等の技能



対象職務

生成AIを用いた業務システムの企画・要件整理・
試作・テスト・改善、またはAIエージェントを
活用した業務開発を担当する方



本講座は通常業務と区別した訓練用環境で実施します。
本番開発・一般公開・運用代行・成果物納品を目的とする講座ではありません。



必要な業務ツールを、AIと一緒に試作する。

現場の仕事を、 開発の要件へ。

Web・システム開発の経験を、AIとつくる学びへ。

講師 酒井 耕兵

株式会社経営企画 代表取締役

Web制作・システム開発の現場経験をもとに、
企業の業務改善・DX推進を支援。生成AIを活用した
実践的なリスキリング研修を通じて、「つくれる人」を増やし、
現場から変化を生み出す組織づくりに取り組んでいます。



Web制作・システム開発

業務に合わせたWebサービス・
業務システムの企画・開発・運用



AI・DX導入支援

生成AIの業務活用、ツール導入、
業務フローの見直しを支援



生成AIリスキリング研修

実務に直結するハンズオン研修で
“つくる力”を育成

つくる前の整理
から、一緒に。

課題
→ 要件 → 試件 → 改善



01 仕事の言葉を、 要件にする。

誰が、何に困っているかを整理し、
必要な画面・機能・条件へ
落とし込む。



02 小さく試して、 直す。

AIへの指示を分け、
変更箇所やエラーを確認し
ながら進める。



03 動作と権限を、 確かめる。

見た目だけでなく、入力・更新・
承認が設計どおりかを確認する。

➡ つくり方だけでなく、**確かめ方**まで学ぶ。

現場の課題を、
使える業務システムに。

1人・1講座 **40万円**〈税別〉

つくる力への
投資を、
助成金で後押し。

¥ 受講料 **44万円**〈税込〉

🕒 2時間×5回・合計**10時間**

👥 当社の受講条件
1社2名から〈推奨4～5名〉

📋 経費助成30万円が支給決定された場合の試算例

受講料

40万円〈税別〉

経費助成

30万円

税別負担目安

10万円

¥ 税込支払額 **44万円**と、経費助成 **30万円**との差額は **14万円**です。



人材開発支援助成金

「事業展開等リスティング支援コース」を想定

中小企業・通常分・実訓練10時間の同時双方向型訓練、
経費助成率75%・上限30万円／人を前提とした試算です。

賃金助成は含みません。

支給の可否・金額は審査等により決まり、支給を保証しません。

本講座のポイント

¥

わかりやすい料金設定
1人・1講座 40万円〈税別〉
受講料44万円〈税込〉

🕒

短期で実践
2時間×5回・合計10時間
業務に直結するカリキュラム

👥

1社2名から受講可能
社内での実践・定着を重視
〈推奨4～5名〉

📊

助成金で負担を軽減
経費助成の活用で、
実質負担を抑えて受講可能

!

支給申請までに、申請事業主による
受講料全額の支払いが必要です。

➡ **今こそ、AIスキルへの投資を。助成金を活用して、はじめやすく。**



受講内容をご相談
準備・日程をご案内



受講日程は個別調整
助成金の申請期限を
踏まえてご案内



貴社の業務に合わせて
最適な進め方をご提案



経営企画
FORWARD DESIGN

まずは、つくりたいWebや業務ツールを 一つ、教えてください。

例えば、受付フォーム、案件一覧、承認までの流れなど、
「こんなことができればいいな」をお聞かせください。
業務の課題に合わせて、最適な学びの進め方をご提案します。

・受付フォーム
・案件一覧
・承認フロー
...

まずは、
必要な機能を
一つから。

ご相談から受講・活用までの流れ

受講内容・日程・必要な準備をご案内します。

1 ご相談



つくりたいWebや
業務ツールのイメージ、
現在の課題・悩みを
お聞かせください。

2 対象職務・ 受講者確認



対象となる業務・職務や
受講予定者のスキル・
業務内容を確認し、
最適な受講プランを
ご提案します。

3 受講申込・ 計画届



助成金を活用する場合、
事業主が計画届を提出。
必要に応じて
社会保険労務士等へ相談。

4 上級講座実施



訓練用環境で、
要件整理・設計から
試作・テスト・改善まで
実習で学びます。

5 支給申請・ その後の活用



助成金を活用する場合、
訓練終了後、事業主が
支給申請。習得した技能を、
その後の業務へ活かします。

段階的な学びで、 組織の力を高める。

- 初級 で、自分の仕事を任せる。
- 中級 で、組織の仕事をつなぐ。
- 上級 で、AIとWeb・業務システムを試作する。

お問い合わせ ご相談・お見積りなど、お気軽にご連絡ください

株式会社経営企画 担当：酒井 耕兵
k.sakai@stratplan.jp
045-620-0010